

国指定知床鳥獣保護区  
知床特別保護指定区域計画書  
【指定】

令和3年11月1日

環 境 省

## 1 特別保護指定区域の概要

### (1) 特別保護指定区域の名称

知床特別保護指定区域

### (2) 特別保護指定区域の区域

国指定知床鳥獣保護区特別保護地区のうち北海道斜里郡斜里町（ポンプタ川からタキノ川の間）所在の道有地。（但し、知床保安林管理車道を除く。）

### (3) 特別保護指定区域の存続期間

令和3年11月1日から令和23年10月31日まで（20年間）

### (4) 特別保護指定区域の指定区分

希少鳥獣生息地の保護区

### (5) 特別保護指定区域の指定目的

本特別保護指定区域は、エゾマツ、トドマツの針葉樹をはじめ、ミズナラ等の広葉樹大径木が残存しており、海岸部から高山帯まで連続した自然植生がみられ、すぐれた森林生態系が維持されている地域である。この地域には、シマフクロウ、オジロワシ、オオワシなどの希少な野生動物が生息している。

当該区域は、海岸の波打ち際から半島脊梁部まで連続的に原始性の高い植生環境が残り、また、サケマス類を基盤とする食物連鎖が顕著に見られ、これらの頂点に位置するシマフクロウ、オジロワシ、ヒグマなどの生息を可能としており、わが国でも極めて貴重で多様な自然生態系の地域となっている。

しかし、ヒグマが比較的容易に観察できることから、報道機関や写真家等による撮影ニーズが高く、立ち入ることによる希少な野生動物の繁殖への影響やヒグマ等との接触事故などの発生が危惧されている。

以上のとおり、希少野生動物等の保護・管理・繁殖を図る必要があるため、当該区域を鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律88号）第29条第7項第4号の規定による特別保護指定区域に引き続き指定し、特段の保護を図るものである。

## 3 特別保護指定区域の面積内訳

別表1のとおり

## 4 指定区域における鳥獣の生息状況

### (1) 当該地域の概要

#### ア 特別保護指定区域の位置

知床半島は、北海道の東北端に位置し、長さ約 65 km、幅約 25 km の細長い半島であり、半島の西側はオホーツク海に面し、東側は根室海峡を隔てて国後島に相對している。本指定区域は、知床半島の突端、知床岬に近く、硫黄山から知床岳に至る稜線の西側で、ルシャ、テッパンベツの 2 河川の流域を中心とした区域である。

#### イ 地形、地質等

地質は、新第三紀層を第四紀洪積世の火山噴出物が覆い、紫蘇輝石安山岩の溶岩流及び同質の集塊岩・砕屑岩からなっており、海岸部は洪積世に堆積した砂・礫層からなっている。

地形は、硫黄山と知床岳の火山帯の間にあつて、半島の脊梁山脈の最低鞍部標高約 300m の「ルシャ・ルサ越」を中心にオホーツク海に向け扇状に広がっており、硫黄山、知床岳の山体に係る部分を除き、比較的穏やかで長大である。このような地形は、短小急流の多い半島にあつては特異なものとなっている。

#### ウ 植物相の概要

海岸線から標高約 300m の間まで植物相は極めて変化に富んでおり、海岸部においては、海岸植物群落が、また、森林帯にはエゾマツ・トドマツなどの針葉樹林やミズナラ・イタヤカエデなどの広葉樹林が、さらにこれを越える地帯ではハイマツ帯から高山植物群落へと植物相の変化が見られ、優れた森林生態系が維持されている。

#### エ 動物相の概要

北海道全域にかつて生息していた陸生ほ乳類及び鳥類のうち多くの種が当地域に生息している。特に鳥類は、現在北海道のごく限られた地域にしか生息していない希少種であるシマフクロウが繁殖している。

また、サケ科の魚類の自然遡上が多く見られるなど河川生態系も良好に維持され、食物連鎖の頂点に位置するシマフクロウ、オオワシ、オジロワシ、ヒグマは他の地域に比べて多くの生息を可能にしており、我が国でも極めて貴重で多様な地域である。

食物連鎖の高位に位置するこれらの野生動物が生息することは、それらを支える生物相が豊富に残されていることを示している。

さらに知床半島沿岸海域は、鳥類・魚類・海獣類が季節移動するコースとなっているため、渡りや回遊の時期には、当地域に多くの生物集団が集中することも当地域の特性である。

### (2) 生息する鳥獣類

#### ア 鳥類

別表2のとおり

イ 獣類

別表3のとおり

(3) 当該区域の農林水産物の被害状況

なし

5 特別保護指定区域の指定及び維持管理に関する事項

- |   |             |   |
|---|-------------|---|
| ① | 特別保護指定地域用制札 | — |
| ② | 案内板         | — |
| ③ | 給水器         | — |
| ④ | 給餌台         | — |
| ⑤ | その他         | — |

6 参考事項

(1) 当初指定

平成13年11月1日（平成13年10月29日 環境庁告示第69号）

別紙1 国設知床鳥獣保護区の面積内訳表

◆形態別面積内訳

	鳥獣保護区			特別保護地区			特別保護指定区域		
	既存面積	拡大(縮小)面積	修正後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	修正後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	修正後の面積
総面積	44,053 ha	0 ha	44,011 ha	23,630 ha	97 ha	23,736 ha	1,156 ha	0 ha	1,169 ha
├ 林野	43,883 ha	ha	43,727 ha	23,620 ha	ha	23,633 ha	1,156 ha	ha	1,169 ha
├ 農耕地	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 公有水面	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
└ その他	170 ha	ha	284 ha	10 ha	97 ha	103 ha	0 ha	ha	0 ha

◆所有別面積内訳

	鳥獣保護区			特別保護地区			特別保護指定区域		
	既存面積	拡大(縮小)面積	修正後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	修正後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	修正後の面積
国有地	40,712 ha	0 ha	40,709 ha	22,407 ha	97 ha	22,476 ha	0 ha	ha	0 ha
├ 国有林	40,629 ha	0 ha	40,588 ha	22,377 ha	0 ha	22,378 ha	— ha	ha	— ha
├ 林野庁所管	40,629 ha	0 ha	40,588 ha	22,377 ha	0 ha	22,378 ha	— ha	ha	— ha
├ 制限林	21,252 ha	0 ha	27,628 ha	8,363 ha	0 ha	11,207 ha	— ha	ha	— ha
├ 保安林	21,252 ha	0 ha	27,627 ha	8,363 ha	0 ha	11,207 ha	— ha	ha	— ha
├ 砂防指定地	— ha	ha	※1 25 ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ その他	— ha	ha	※2 1 ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 普通林	19,377 ha	0 ha	12,959 ha	14,014 ha	0 ha	11,171 ha	— ha	ha	— ha
├ 文部科学省所管	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ ○○省所管	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 国有林以外の国有地	83 ha	0 ha	121 ha	30 ha	97 ha	98 ha	— ha	ha	— ha
├ 財務省所管	74 ha	0 ha	3 ha	29 ha	0 ha	0 ha	— ha	ha	— ha
├ 国土交通省所管	8 ha	0 ha	8 ha	1 ha	0 ha	1 ha	— ha	ha	— ha
├ 農林水産省所管	1 ha	0 ha	2 ha	0 ha	0 ha	0 ha	— ha	ha	— ha
├ 環境省所管	— ha	ha	108 ha	— ha	97 ha	97 ha	— ha	ha	— ha
地方公共団体所有地	3,151 ha	0 ha	3,275 ha	1,213 ha	0 ha	1,260 ha	1,156 ha	0 ha	1,169 ha
├ 都道府県所有地	1,238 ha	0 ha	1,234 ha	1,162 ha	0 ha	1,186 ha	1,156 ha	0 ha	1,169 ha
├ 制限林地	91 ha	ha	91 ha	91 ha	ha	91 ha	91 ha	ha	91 ha
├ 保安林	91 ha	ha	91 ha	91 ha	ha	91 ha	91 ha	ha	91 ha
├ 砂防指定地	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ その他	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 普通林地	1,147 ha	ha	1,108 ha	1,071 ha	ha	1,095 ha	1,065 ha	ha	1,078 ha
├ その他	— ha	ha	35 ha	— ha	ha	0 ha	— ha	ha	— ha
├ 市町村所有地等	1,913 ha	0 ha	2,041 ha	51 ha	0 ha	74 ha	— ha	0 ha	— ha
├ 制限林地	979 ha	ha	991 ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 保安林	979 ha	ha	991 ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 砂防指定地	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ その他	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 普通林地	934 ha	ha	939 ha	51 ha	ha	69 ha	— ha	ha	— ha
├ その他	— ha	ha	111 ha	— ha	ha	5 ha	— ha	ha	— ha
私有地等	190 ha	-97 ha	14 ha	10 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
├ 制限林地	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 保安林	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 砂防指定地	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ その他	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 普通林地	190 ha	-69 ha	10 ha	10 ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ その他	— ha	-28 ha	4 ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
公有水面	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
その他	— ha	ha	13 ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
計	44,053 ha	-97 ha	44,011 ha	23,630 ha	97 ha	23,736 ha	1,156 ha	0 ha	1,169 ha

※1 保安林との重複面積は23.63ha。ただし、保安林と重複する部分の面積は含まず。

※2 保安林との重複面積は0.99ha。ただし、保安林と重複する部分の面積は含まず。

◆他法令による規制区域との重複

	鳥獣保護区			特別保護地区			特別保護指定区域		
	既存面積	拡大(縮小)面積	修正後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	修正後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	修正後の面積
自然環境保全法による地域 (名称:○○自然環境保全地域)	— ha	0 ha	0 ha	— ha	0 ha	0 ha	— ha	0 ha	0 ha
├ 特別地区	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 普通地区	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
自然公園法による地域 (名称:○○公園)	38,328 ha	0 ha	38,621 ha	23,627 ha	0 ha	23,736 ha	1,156 ha	ha	1,169 ha
├ 特別保護地区	23,518 ha	ha	23,765 ha	23,332 ha	ha	23,442 ha	1,156 ha	ha	1,169 ha
├ 特別地域	14,810 ha	ha	14,856 ha	295 ha	ha	294 ha	— ha	— ha	— ha
├ 普通地域	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	— ha	— ha
文化財保護法による地域 (名称:国(県)指定天然記念物 ○○自生地)	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha

※拡大・縮小以外の面積変動は、岩礁の国有地編入・所管替え・面積精査・面積計算方法の見直しによるもの。

ア 鳥類		(別表3-1) 国指定知床鳥獣保護区 特別保護指定区域		
目	科	種または亜種	種の指定等	備考
アビ目	アビ科	アビ		旅鳥または冬鳥
		オオハム		旅鳥または冬鳥
		シロエリオオハム		旅鳥または冬鳥
		ハシジロアビ		数少ない冬鳥または旅鳥
カイツブリ目	カイツブリ科	○ カイツブリ		夏鳥
		ハジロカイツブリ		冬鳥
		ミミカイツブリ		冬鳥
		アカエリカイツブリ		夏鳥
		カンムリカイツブリ		旅鳥または冬鳥
ミズナギドリ目	ミズナギドリ科	フルマカモメ		周年
		アカアシミズナギドリ		5~8月頃に出現する
		ハイロミズナギドリ		5~10月頃に出現する
		ハシボソミズナギドリ		春から夏
	ウミツバメ科	ハイロウミツバメ		冬鳥
		コシジロウミツバメ		夏鳥
カツオドリ目	ウ科	○ ウミウ		周年
		○ ヒメウ		周年
		チシマウガラス	CR	周年
コウノトリ目	サギ科	ミゾゴイ	VU	夏鳥
		アカガシラサギ		ごく少ない夏鳥
		アマサギ		夏鳥
		チュウサギ	NT	稀な夏鳥
		コサギ		稀な夏鳥
		○ アオサギ		夏鳥
カモ目	カモ科	コクガン	国天・VU	旅鳥または冬鳥
		マガン	国天・NT	旅鳥
		ヒシクイ	国天	旅鳥
		コブハクチョウ		周年
		オオハクチョウ		旅鳥または冬鳥
		コハクチョウ		旅鳥または冬鳥
		○ オシドリ	DD	夏鳥
		○ マガモ		周年
		○ カルガモ		周年
		コガモ		冬鳥
		トモエガモ	VU	冬鳥
		ヨシガモ		夏鳥
		オカヨシガモ		旅鳥
		ヒドリガモ		旅鳥
		オナガガモ		冬鳥または旅鳥
		ハシビロガモ		冬鳥または旅鳥
		ホシハジロ		冬鳥または旅鳥
		クビワキンクロ		冬鳥または旅鳥
		キンクロハジロ		旅鳥または冬鳥
		○ スズガモ		旅鳥または冬鳥
		クログモ		旅鳥または冬鳥
		ビロードキンクロ		冬鳥
		○ シノリガモ		冬鳥または周年
		コオリガモ		冬鳥
		○ ホオジロガモ		冬鳥
		ミコアイサ		冬鳥
		ウミアイサ		冬鳥
		○ カワアイサ		周年

ア 鳥類 (別表3-2) 国指定知床鳥獣保護区 特別保護指定区域

目	科	種または亜種	種の指定等	備考	
タカ目	ミサゴ科	ミサゴ	NT	夏鳥	
		タカ科	トビ	周年	
			○ オジロワシ	国天・国内希少・VU	周年または冬鳥
			○ オオワシ	国天・国内希少・VU	冬鳥
			オオタカ	NT	周年
			ツミ		夏鳥
			ハイタカ	NT	周年
			ケアシノスリ		数少ない冬鳥
			ノスリ		周年
			クマタカ	国内希少・EN	周年
			カラフトワシ		稀な冬鳥
			ハイイロチュウヒ		冬鳥または旅鳥
			チュウヒ	国内希少・EN	夏鳥または周年
		ハヤブサ科	シロハヤブサ		冬鳥
			ハヤブサ	国内希少・VU	周年
			チゴハヤブサ		夏鳥
			コチョウゲンボウ		冬鳥
			チョウゲンボウ		冬鳥
	キジ目	ライチョウ科	エゾライチョウ	DD	周年
キジ科		ウズラ	VU	夏鳥	
		キジ		周年	
ツル目	ツル科	タンチョウ	国特天・国内希少・VU	周年	
	クイナ科	クイナ		夏鳥	
		ヒメクイナ		夏鳥	
		バン		夏鳥	
		ツルクイナ		迷鳥	
		オオバン		夏鳥	
チドリ目	チドリ科	コチドリ		夏鳥	
		シロチドリ	VU	旅鳥	
		メダイチドリ	国際希少	旅鳥	
		ムナグロ		旅鳥	
		ダイゼン		旅鳥	
	シギ科	キョウジョシギ		旅鳥	
		トウネン		旅鳥	
		ヒバリシギ		旅鳥	
		ハマシギ	NT	旅鳥	
		オバシギ	国際希少	旅鳥	
		ミユビシギ		旅鳥	
		キリアイ		旅鳥	
		ツルシギ	VU	旅鳥	
		アオアシシギ	VU	夏鳥	
		タカブシギ	VU	旅鳥	
		キアシシギ		旅鳥	
		イソシギ		夏鳥	
		チュウシャクシギ		旅鳥	
		ヤマシギ		夏鳥	
		タシギ		旅鳥	
		ハリオシギ		夏鳥	
		チュウジシギ		不明	
		○ オオジシギ	NT	夏鳥	
		アオシギ		冬鳥	
		セイタカシギ科	セイタカシギ	VU	旅鳥

ア 鳥類 (別表3-3) 国指定知床鳥獣保護区 特別保護指定区域

目	科	種または亜種	種の指定等	備考		
チドリ目	ヒレアシシギ科	ハイイロヒレアシシギ		旅鳥		
		アカエリヒレアシシギ		旅鳥		
	トウゾクカモメ科	トウゾクカモメ		不明		
		クロトウゾクカモメ		旅鳥または夏鳥		
カモメ科		○ ユリカモメ		旅鳥		
		ホイグリンカモメ		旅鳥		
		セグロカモメ		冬鳥		
		○ オオセグロカモメ		周年		
		ワシカモメ		冬鳥		
		○ シロカモメ		冬鳥		
		アイスランドカモメ		ごく稀な冬鳥		
		カモメ		旅鳥		
		○ ウミネコ		夏鳥		
		ミツユビカモメ		冬鳥		
		ヒメクビワカモメ		数少ない冬鳥		
		ゾウゲカモメ		ごく稀な冬鳥		
		ハジロクロハラアジサシ		旅鳥		
		アジサシ		旅鳥		
		ウミスズメ科		ウミガラス	国内希少・CR	周年
				ハシブトウミガラス		冬鳥
ウミバト				数少ない冬鳥		
○ ケイマフリ	VU			周年		
マダラウミスズメ	DD			冬鳥または周年		
ウミスズメ	CR			周年		
エトロフウミスズメ				冬鳥		
コウミスズメ				冬鳥		
ウミオウム				稀な冬鳥		
ウトウ				周年		
ツノドリ				数少ない冬鳥		
エトピリカ	CR	周年				
ハト目	ハト科	○ キジバト		夏鳥		
		アオバト		夏鳥		
カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ		夏鳥		
		カッコウ		夏鳥		
		○ ツツドリ		夏鳥		
		○ ホトギス		夏鳥		
フクロウ目	フクロウ科	シロフクロウ		稀な冬鳥		
		ワシミズク	国内希少・CR	周年		
		シマフクロウ	国天・国内希少・CR	周年		
		トラフズク		夏鳥		
		コシミズク		冬鳥		
		コノハズク		夏鳥		
		オオコノハズク		周年		
		キンメフクロウ	CR	不明		
		アオバズク		夏鳥		
		フクロウ		周年		
ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ	NT	夏鳥		
アマツバメ目	アマツバメ科	ハリオアマツバメ		夏鳥		
		○ アマツバメ		夏鳥		
ブッポウソウ目	カワセミ科	ヤマセミ		夏鳥		
		アカショウビン		夏鳥		
		カワセミ		夏鳥		



ア 鳥類 (別表3-4) 国指定知床鳥獣保護区 特別保護指定区域

目	科	種または亜種	種の指定等	備考
ブッポウソウ目	ヤツガシラ科	ヤツガシラ		数少ない旅鳥
キツツキ目	キツツキ科	アリスイ		夏鳥
		ヤマゲラ		周年
		クマゲラ	国天・VU	周年
		○ アカゲラ		周年
		オオアカゲラ		周年
		コアカゲラ		周年
		○ コゲラ		周年
スズメ目	ヒバリ科	ヒバリ		夏鳥
	ツバメ科	ショウドウツバメ		夏鳥
		ツバメ		夏鳥
		コシアカツバメ		夏鳥
		○ イワツバメ		夏鳥
	セキレイ科	ツメナガセキレイ		夏鳥
		○ キセキレイ		夏鳥
		○ ハクセキレイ		夏鳥
		セグロセキレイ		夏鳥
		○ ビンズイ		夏鳥
		タヒバリ		旅鳥
	ヒヨドリ科	○ ヒヨドリ		周年
	モズ科	モズ		夏鳥
		アカモズ	EN	夏鳥
		オオモズ		冬鳥
	レンジャク科	キレンジャク		旅鳥または冬鳥
		ヒレンジャク		旅鳥または冬鳥
	カワガラス科	○ カワガラス		周年
	ミソサザイ科	ミソサザイ		周年
	イワヒバリ科	カヤクグリ		夏鳥
	ツグミ科	コマドリ		夏鳥
		ノゴマ		夏鳥
		コルリ		夏鳥
○ ルリビタキ			夏鳥	
クロジョウビタキ			迷鳥	
ジョウビタキ			旅鳥	
○ ノビタキ			夏鳥	
○ イソヒヨドリ			夏鳥	
○ トラツグミ			夏鳥	
マミジロ			夏鳥	
クロツグミ			夏鳥	
○ アカハラ			夏鳥	
シロハラ			旅鳥	
マミチャジナイ			旅鳥	
ツグミ		冬鳥または旅鳥		
ノハラツグミ		迷鳥		
ウグイス科	ヤブサメ		夏鳥	
	○ ウグイス		夏鳥	
	エゾセンニュウ		夏鳥	
	シマセンニュウ		夏鳥	
	マキノセンニュウ	NT	夏鳥	
	コヨシキリ		夏鳥	
	オオヨシキリ		夏鳥	
	オオムシクイ	DD	夏鳥	

ア 鳥類 (別表3-5) 国指定知床鳥獣保護区 特別保護指定区域

目	科	種または亜種	種の指定等	備考
スズメ目	ウグイス科	メボソムシクイ(オオムシクイ) DD		夏鳥
		エゾムシクイ		夏鳥
		○ センダイムシクイ		夏鳥
		○ キクイタダキ		周年
	ヒタキ科	キビタキ		夏鳥
		オオルリ		夏鳥
		サメビタキ		夏鳥
		エゾビタキ		夏鳥
		コサメビタキ		夏鳥
	エナガ科	○ エナガ		周年
	シジュウカラ科	○ ハシブトガラ		周年
		コガラ		周年
		○ ヒガラ		周年
		ヤマガラ		周年
		○ シジュウカラ		周年
	ゴジュウカラ科	○ ゴジュウカラ		周年
	キバシリ科	キバシリ		周年
	メジロ科	メジロ		夏鳥または周年
	ホオジロ科	シラガホオジロ		数少ない冬鳥
		○ ホオジロ		夏鳥
		ホオアカ		夏鳥
		カシラダカ		旅鳥
		ミヤマホオジロ		冬鳥
		シマアオジ	国内希少・CR	夏鳥
		○ アオジ		夏鳥
		クロジ		夏鳥
		オオジュリン		夏鳥
		ツメナガホオジロ		夏鳥
		ユキホオジロ		冬鳥
	アトリ科	アトリ		冬鳥または旅鳥
		○ カワラヒワ		夏鳥
		マヒワ		周年
		ベニヒワ		冬鳥
		ハギマシコ		冬鳥または漂鳥
		オオマシコ		冬鳥
		ギンザンマシコ		周年または冬鳥
		イスカ		周年
		ナキイスカ		稀な冬鳥
		ベニマシコ		夏鳥
		○ ウソ		周年
		イカル		夏鳥
		シメ		夏鳥
	ハタオリドリ科	ニューナイスズメ		夏鳥
		○ スズメ		周年
	ムクドリ科	コムクドリ		夏鳥
		ムクドリ		周年
		ホシムクドリ		稀な旅鳥もしくは冬鳥
	カラス科	カケス		周年
		カササギ		周年
		ホシガラス		周年
		○ ハシボソガラス		周年
		○ ハシブトガラス		周年

## ア 鳥類

(別表3-6) 国指定知床鳥獣保護区 特別保護指定区域

種または亜種			
スズメ目	カラス科	ワタリガラス	冬鳥
合計(種)		260	

- 鳥類の目・科・種(和名)及び配列は、「日本野生鳥獣目録(平成14年7月、環境省自然環境局野生生物課)」に準拠するとともに、基本的には以下の資料を参考にした。  
「内田暁友編(2010)データブック知床・2010」斜里町立知床博物館
- 種の指定等の要件は次の通りである。  
国天：国指定天然記念物  
特天：国指定特別天然記念物  
環境省レッドリスト2020  
CR：絶滅危惧種ⅠA類、EN：絶滅危惧種ⅠB類、VU：絶滅危惧種Ⅱ類、NT：準絶滅危惧種、  
DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群  
国内希少：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国内希少野生動植物種  
国際希少：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国際希少野生動植物種
- アンダーラインは鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第1章第2条第4項により国際的又は全国的に保護を図る必要があるものとして環境省令で定める鳥獣。
- 印は当地域で一般的に見られる鳥類。  
(引用：国設知床鳥獣保護区 知床特別保護地区 指定計画書 平成13年10月2日 環境省)
- 備考：北海道における周年、夏鳥、冬鳥、旅鳥及び迷鳥の別を記載。  
(引用：新訂 北海道野鳥図鑑 亜璃西社 2013年3月28日第2版発行)

イ 獣類		(別表3-7) 国指定知床鳥獣保護区 特別保護指定区域	
目	科	種または亜種	種の指定等
モグラ目	トガリネズミ科	<input type="checkbox"/> トウキョウトガリネズミ <input type="checkbox"/> ヒメトガリネズミ <input type="checkbox"/> エゾトガリネズミ <input type="checkbox"/> オオアシトガリネズミ	VU
コウモリ目	ヒナコウモリ科	<u>ヒメホオヒゲコウモリ</u> ウスリーホオヒゲコウモリ モモジロコウモリ ドーベントンコウモリ カグヤコウモリ <u>キタクビワコウモリ(ヒメホリカワコウモリ)</u> ヤマコウモリ ウサギコウモリ <u>チチブコウモリ</u> <input type="checkbox"/> テングコウモリ コテングコウモリ	VU VU
ネコ目	イヌ科	エゾタヌキ ○ キタキツネ	
	イタチ科	エゾクロテン ホンドイタチ(ニホンイタチ) ニホンイイズナ(キタイイズナ) エゾオコジョ ミンク(アメリカミンク) ラッコ	NT NT 特定外来
	アライグマ科	アライグマ	特定外来
	クマ科	エゾヒグマ(ヒグマ)	
ウシ目	シカ科	○ エゾシカ	
ネズミ目	リス科	エゾリス エゾシマリス エゾモモンガ	DD
	ネズミ科	<input type="checkbox"/> エゾヤチネズミ <input type="checkbox"/> ミカドネズミ <input type="checkbox"/> カラフトアカネズミ <input type="checkbox"/> エゾアカネズミ <input type="checkbox"/> ヒメネズミ <input type="checkbox"/> ドブネズミ <input type="checkbox"/> クマネズミ <input type="checkbox"/> ハツカネズミ	
ウサギ目	ウサギ科	エゾユキウサギ	
合計(種)			38

1. 獣類の目・科・種(和名)及び配列は、「日本野生鳥獣目録(平成14年7月、環境省自然環境局野生生物課)」に準拠するとともに、基本的には以下の資料を参考にした。

「内田暁友編(2010)データブック知床・2010」斜里町立知床博物館

「村上隆広・近藤憲久(2018)北海道の哺乳類」知床博物館協会の

「近藤憲久(2010)コウモリ類の現状と課題」知床の自然保護・斜里町立知床博物館

2. 種の指定等の要件は次の通りである。

環境省レッドリスト2020

CR：絶滅危惧種ⅠA類、EN：絶滅危惧種ⅠB類、VU：絶滅危惧種Ⅱ類、NT：準絶滅危惧種、

DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

特定外来：特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律による特定外来生物

3. アンダーラインは鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第1章第2条第4項により国際的又は全国的に保護を図る必要があるものとして環境省令で定める鳥獣。

4. ○印は当地域で一般的に見られる鳥類。

(引用：国設知床鳥獣保護区 設定計画書 平成13年10月2日 環境省)

5. □印は以下のリストに記載の種

「知床博物館HP 哺乳類リスト(<http://shiretoko-museum.mydns.jp/>)」

6. 備考：以下の文献を参考に主な生息環境を記載(コウモリ目については主なねぐらを記載)。

(阿部永[監修] 日本の哺乳類 1994年 東海大学出版会)

(大泰司紀之・中川元編著 知床の動物 原生的自然環境下の脊椎動物群集とその保護 1988年 北海道大学図書刊行会)